

## 問に答ふ

■一 繪畫を専門的に研究するには必ず墨繪のみを充分研究する必要ありや、其年限は約何年位なるか、又時には他の繪を畫くも妨げにはならずや二 繪の堅くなるのを直す法如何三 風景の寫生に地平線を畫面外に出だすも構圖上に害なきや四 繪具をパレットにて溶解せずして小部分へ強く塗るも差支へ無きか五 日本水彩畫會研究所地方講習生は寫すべき物品及び繪の種類を指定せらるゝにや六 小生の如き初學者の者にも日本水彩畫會研究所へ入り得る資格ありや七 汚なきものを奇麗に畫くのと、汚なきものを汚なく畫くのと何方が可なるや八 太平洋畫會及び白馬會とは如何なるものによ、其目的主義を知りたし(清想)◎一 初めに墨繪の研究を爲されば、繪畫の根本たる輪廓及濃淡の調子を覺えることが出來ぬ、墨繪の研究即ちデッサンが不充分では大作を出すことが出來ぬ、年限は其人の天分と勉強とによれど、通例毎日研究

所に通つて二三年は木炭を掴まればならぬ次に、其間に彩色畫を畫くとは妨にはならぬ二 描法にもよる、淡き繪具を幾度も重ねて畫くか、又は畫面は洗へばよいが、固い繪が必ずしも悪いのではない、これ等のことは澤山寫生して自得するより他に方法はない三 差支なし四 差支なし五 別に指定せず六 如何なる初學者にても可なり七 有の儘に寫生すべし、但汚なきものに美的感興は起らぬ筈ならん、汚なきものを殊更に主眼として繪にする場合なし八 何れも會員組織にして別に會頭といふものなし、西洋畫の進歩發達を目的とする同好者の研究の會合なり■一 寫生の時畫架を用ひると彩料が流れて調子が狂ふて來る、畫架は用ひぬ方がよきや二 着色の當時濕れてゐる時と後と結果が違ふが繪具の下等なるが故にや、またある種類のみ上等繪具を用ひたらよいか(峯嶺)◎一 畫架は必ず用ふべきものにして、畫架なければ箱にても可、要するに六十度位ひの角度に畫板を立て、畫がくがよきなり、但極小な

るものは膝の上で平面に置ても差支なし二 五錢のチューブは日本製にしてシカモ舶來と號するゴマカシものなり、中でインジゴ位ひは使用に耐ふべし、森親子商會輸入のニユートン學生用の方幾分かましならん、併しどの繪具でも濡れてゐる時と乾いて後とは多少の相違を生ずるは免れず■一 畫用人形の賣店及價格二 中繪及寫眞版としての募集畫の大き及宛所三 寫眞版としてチヨーク畫は採用せずや(北海の虫)◎一 神田小川町熊野屋は三色以内にて大きハガキ大、寫眞版は制限なし、但寫眞として送らるゝ方便利なり三 よき繪なら種類を問はず、宛所は本會■ローヤルアカデミー畫集は年何回發行なりや(愛讀者)◎繪入略目錄は毎年五月開會當時に發行し、精巧なるものは分冊にて四五回發行さるべし、合本となりしもの毎年丸善書店に舶來しあり■藝用筋肉解剖書の發行所及定價を知りたし(森本利三)◎本郷區湯島切通坂上畫報社に藝用解剖學あり、神田表神保町中西

屋に美術家用の解剖書あり、何れも定價未詳■ニユーマン製のヴァミリオン粗くして因ります使用法悪しき故にや、オレンヂヴァミリオンならばよきや(長谷川生)◎繪具の性質にて使用法悪しき爲めにはあらざるべし、オレンヂヴァミリオンは幾分か可ならん、硝子の上に取出して練直して見たまへ■一 ブラツシとは何か二 初學者に必要な舶來の鉛筆又は水彩臨本三 夜景の綠色は何を混じて可なりや四 ワツトマン九つ切のタチ方五 水貼の時紙か脹れるが暫時すると平面になるこれにて可なりや六 水貼のフチに貼る紙の幅は何分位ひが適當にや七 日本水彩畫會研究所現在の生徒は何名程ありや(關西畫狂生)◎一 筆といふこと筆目といふ意味にも用ふ二 日本橋區通三丁目丸善書店並びに麻布飯倉町大日本繪畫講習會に多數舶來せり目錄を取よせ見られたし三 其綠の本然の色により一様ならず、夜といふても季節の關係もあり晴臺の關係もあり、かゝることは到底説明しがたし、宜しくパレットの上で

自分で研究すべきもの四 三つにおり更に横に三つにたつなり五 差支なし六 凡そ三分から五分位迄七 現在通學者六十餘名■一 木の葉又は草の色に小生はコバルト、レモンエロー少量のピンクマダーを加へそれにて畫けど悪しきや二 油繪にて刷毛の工合で横より見ると光り方の異ふことあり差支なきや三 油繪にて人の顔の色は何と何とを混じて可なりや四 コロタイプ又はオートタイプ刷を見て自分で色を想像して畫くことは進歩の助となるや五 大下先生の紫色は何と何とにて成るや(柏木俊一)◎一 君の調合はある場合には差支なけれど凡ての綠に應用は出來ぬ、綠の説明は本欄の許す處でない、宜しく『水彩畫階梯』又は『最新水彩畫法』を見られよ二 正面から見るべきもの故差支なからん三 是も一の答と同様なり、到底せまき誌面にて満足の答は出來ぬ、油繪畫法又は洋畫講義錄にても見られよ四 有害なり、かゝる暇に靜物寫生でも試みたまへ五 紫にも種類ありて一様ならず、却て讀者を誤るべ

ければ答へがたし但、蔭は多く用ひる暗紫色はウルトラマリンとインジアンレットを混ぜ■みどり洋畫會は如何なりしや、雜誌は發行してゐるにや(自然子)◎主幹北山氏入營後雜誌の發行は中止されたり、會の所在不明■一 繪具を幾度も重ねてゆくと繪にムラが出來て困るが如何なる理由にや二 『みづゑ』見本は何程にや、また三十號以前のものには號數を指定し得べきや三 インジアンエロー。オルトラマリン。ニユートラルチント等の用途を知りたし四 初學者は一枚の繪に幾日位かゝるものにや(和多田てる子)◎ムラの出來るのは下塗の悪しきか未だ乾かぬうちに重ねる故ならん、時としてムラの出來た方が面白き場合もあり二 十錢、指定に應ぜず三 インジアンエローは強き力ある黃にして、重に前景の綠に、又は夕方の空などに、オルトラマリンは空及水、または綠の一部に、多くは蔭影の鼠色を作る混合物として有効。ニユートラルチントは、空、前景の蔭の部分などに用ひられるが、多く使用すると

繪が重くなるおそれあり四 其繪の大きさによれどワットマン八切なら二日か三日通ふたら出来るならん、時間にして六時間程、五 には答へがたし■一 繪畫製作の上に偶然の効果を頼むは愚と云ふ、然らば大家は何故に名作許り出来ざるか二 研究の痕なき作と有る畫との鑑別は如何にしてなすか三 懸腕にて輪廓をとる時は手が震へて困る、練習すれば小部分迄描くもが出来得るや(水彩入道)

◎一 繪の製作は大工が家を作り左官が壁を塗るやうな者でなく、必然かく成るべしと思ひても成らぬことあり、これ大家にも劣作ある所以、然し素養なきものが冒險的に偶々成効したのは、恰も投機と同じく眞面目なる繪畫の上に應用すべきものでない、要するに偶然といふ字を狹義に解せば何事も偶然ならぬはなし二 畫面に注意の届いてゐると否とによつて見るべく、これも程度問題で經驗によつて批判すべきもの三 小部分は勿論大部分でも輪廓をとるに懸腕にてなすに及ばず■今年の文部省展覽會にての授賞畫の

大きを知りたし(綠葉)◎一々擧げがたし『おもひて』の如きは六尺に一丈もあらん、水彩畫にはワットマン四ツ切位ひのもありたり■一 『みづゑ』の口繪『モデル』『少女』『朝なき』『京都郊外』『深山の秋』等は模寫してよろしきや二 右等の繪に用ひられし色彩の順序は如何三 研究所別科土曜日の記名料授業料は何程にて誰でも入學し得るにや四 『みづゑ』に『スタデー』と題する樹木の繪のありし號は何號なりや、また殘本ありや五 ローカルカラー。プラツシ。タツチ。エフトとは何の事か(日本橋和輝生)◎一 『少女』は印刷の工合にて出来なるもの混れり、他は差支なからん二 製版後、色に幾分の相違を生ずべく説明しがたし三 土曜日にあらず日曜日なり記名料壹圓、所費壹圓月次會々費拾錢何人でも入學を許す四 第二十六にして殘本あり五 ローカルカラーとは地方色といふことで其土地又は其物固有の色調感情などを云ふ、プラツシは前に答あり、タツチは重に繪の締りに用ひる、一番暗い處などに

強い色がつけてある場合など、エフエクトは感じ結果など種々譯語あり、六 は答ふる限にあらず■洋畫講義録の發行所及川端畫學校の所在を知りたし(加藤松之助)◎前者は麻布區飯倉町四丁目、後者は小石川區上富坂町■一 『みづゑ』直接讀者ですが誌上にて繪の質問をなし得べきや二 『讀者の領分』へ投書し得るか三 用紙はハガキにて可なりや(新讀者)◎一 二、三、何れも差支なし

### 讀者の領分

■スケツチ交換を望む。水彩畫持ち合せあり美術雜誌と交換したし。本年の終刊に臨んで幾多の利益と幾多の新知識とを習得したるを深謝すると共に今後益々向上發展せられん事を期して止まざるもの、讀者諸君幸に健全なれ(松本市宮淵忠地英雄)■今秋文部省展覽會諸先生の出品畫は原色版となして順次掲載叶ふまじきや(イナカ者)■肉筆水彩畫葉書交換希望、返葉迅速(尾道市坊地山路修次郎)■洋畫講義録全部譲る、次に『みづゑ』四